

表8 男女別のまつ毛エクステーションの美容認知の割合

			美容認知		合計
			知っている	知らない	
性別	男性	度数	1185	232	1417
		性別の%	83.6%	16.4%	100.0%
	女性	度数	901	34	935
		性別の%	96.4%	3.6%	100.0%
合計		度数	2086	266	2352
		性別の%	88.7%	11.3%	100.0%

表9 男女別のまつ毛エクステーションの健康被害認知の割合

			被害認知		合計
			はい	いいえ	
性別	男性	度数	1007	409	1416
		性別の%	71.1%	28.9%	100.0%
	女性	度数	782	148	930
		性別の%	84.1%	15.9%	100.0%
合計		度数	1789	557	2346
		性別の%	76.3%	23.7%	100.0%

表10 男女別のまつ毛エクステーションによる眼障害受診者経験の割合

			受診者経験		合計
			はい	いいえ	
性別	男性	度数	277	1126	1403
		性別の%	19.7%	80.3%	100.0%
	女性	度数	190	743	933
		性別の%	20.4%	79.6%	100.0%
合計		度数	467	1869	2336
		性別の%	20.0%	80.0%	100.0%

表11 地域規模別のまつ毛エクステンションの美容認知の割合

			美容認知		合計
			知っている	知らない	
地域規模	大都市部	度数	623	65	688
		地域規模の%	90.6%	9.4%	100.0%
	中小都市部	度数	1230	171	1401
		地域規模の%	87.8%	12.2%	100.0%
	町村部	度数	209	28	237
		地域規模の%	88.2%	11.8%	100.0%
合計		度数	2062	264	2326
		地域規模の%	88.7%	11.3%	100.0%

表12 地域規模別まつ毛エクステンションの健康被害認知の割合

			被害認知		合計
			はい	いいえ	
地域規模	大都市部	度数	533	155	688
		地域規模の%	77.5%	22.5%	100.0%
	中小都市部	度数	1060	337	1397
		地域規模の%	75.9%	24.1%	100.0%
	町村部	度数	177	59	236
		地域規模の%	75.0%	25.0%	100.0%
合計		度数	1770	551	2321
		地域規模の%	76.3%	23.7%	100.0%

表13 地域規模別まつ毛エクステンションの眼障害受診者経験の割合

			受診者経験		合計
			はい	いいえ	
地域規模	大都市部	度数	166	520	686
		地域規模の%	24.2%	75.8%	100.0%
	中小都市部	度数	251	1139	1390
		地域規模の%	18.1%	81.9%	100.0%
	町村部	度数	44	191	235
		地域規模の%	18.7%	81.3%	100.0%
合計		度数	461	1850	2311
		地域規模の%	19.9%	80.1%	100.0%

表14 まつ毛エクステーションの使用への考え

	日常的な使用を 推奨する	日常的な使用を 許容できる	特別な時の 使用であれば 許容できる	使用を 推奨することは できない
実数	3	317	871	1076
割合 (%)	0.1	13.5	37.0	45.7

表15 診療科別まつ毛エクステーションの使用への考え方

診療科2分け	日常的な使用を 推奨する	日常的な使用を 許容できる	特別な時の 使用であれば 許容できる	使用を 推奨することは できない
眼科 実数	1	165	431	456
眼科 割合 (%)	0.1	15.2	39.6	41.9
皮膚科 実数	2	152	440	620
皮膚科 割合 (%)	0.2	12.0	34.8	49.1

表16 医療機関別まつ毛エクステーションの使用への考え方

医療機関	日常的な使用を 推奨する	日常的な使用を 許容できる	特別な時の 使用であれば 許容できる	使用を 推奨することは できない
病院 実数	1	129	285	225
病院 割合 (%)	0.1	19.3	42.7	33.7
診療所 実数	2	184	576	836
診療所 割合 (%)	0.1	11.1	34.8	50.5
その他 実数	0	3	9	11
その他 割合 (%)	0.0	12.0	36.0	44.0
不明 実数	0	1	1	4
不明 割合 (%)	6	5	5	2

表17 まつ毛エクステーションによる眼障害受診経験別まつ毛エクステーションの使用への考え方

@10_1#受診者経験	日常的な使用を 推奨する	日常的な使用を 許容できる	特別な時の 使用であれば 許容できる	使用を 推奨することは できない
経験あり 実数	0	50	186	228
経験あり 割合 (%)	0.0	10.7	39.8	48.8
経験なし 実数	3	264	682	841
経験なし 割合 (%)	0.2	14.1	36.5	45.0
不明 実数	0	3	3	7
不明 割合 (%)	0	16	16	37

表18 男女別まつ毛エクステーションの使用への考え方

性別	日常的な使用を 推奨する	日常的な使用を 許容できる	特別な時の 使用であれば 許容できる	使用を 推奨することは できない
男性 実数	2	202	506	632
男性 割合 (%)	0.1	14.2	35.7	44.6
女性 実数	1	115	365	444
女性 割合 (%)	0.1	12.3	39.0	47.4

表19 自身のまつ毛の装飾

	割合(%)	人数
何もしていない	85.1	2003
まつ毛エクステンション	1.2	28
まつ毛パーマ	1.3	30
つけまつ毛	0.9	22
マスカラ	13.1	308

*複数回答可

*割合は対象者人数を母数とした。

表20 まつ毛エクステンションの装飾の有無における美容認知の割合

		美容認知		合計
		知っている	知らない	
まつげエクステンション	実数	2058	266	2324
	装飾無	88.6%	11.4%	100.0%
	実数	28	0	28
	装飾有	100.0%	0.0%	100.0%
合計	実数	2086	266	2352
	割合	88.7%	11.3%	100.0%

*無回答のものは解析から除外した。

表21 まつ毛エクステンションの装飾の有無における健康被害認知の割合

		被害認知		合計
		はい	いいえ	
まつげエクステンション	実数	1764	554	2318
	装飾無	76.1%	23.9%	100.0%
	実数	25	3	28
	装飾有	89.3%	10.7%	100.0%
合計	実数	1789	557	2346
	割合	76.3%	23.7%	100.0%

*無回答のものは解析から除外した。

表22 まつ毛エクステンションの装飾の有無における眼障害受診者の経験の割合

		受診者経験		合計
		はい	いいえ	
まつげエクステンション	実数	461	1848	2309
	装飾無	20.0%	80.0%	100.0%
	実数	6	21	27
	装飾有	22.2%	77.8%	100.0%
合計	実数	467	1869	2336
	割合	20.0%	80.0%	100.0%

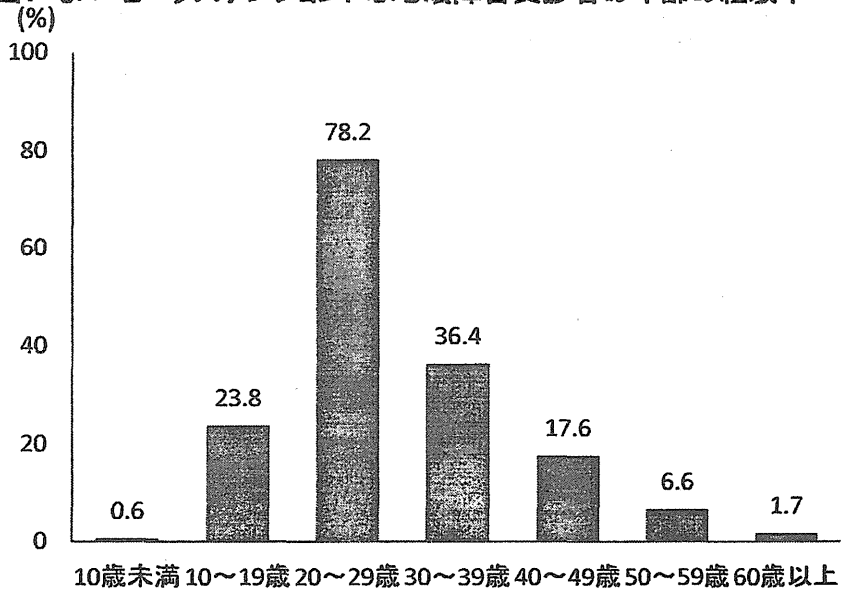
*無回答のものは解析から除外した。

表23 まつ毛エクステンションによる眼障害受診経験者における診察した疾患の割合

	割合
まつ毛脱落	11.6%
眼瞼皮膚炎	56.3%
眼瞼縁炎	40.0%
急性結膜炎	19.7%
点状表層角膜症	26.6%
角膜びらん	22.1%
角膜潰瘍	2.1%
接触性皮膚炎	22.7%
異物肉腫	0.4%
細菌感染症	2.8%
真菌症	0.2%
アレルギーの悪化	6.2%
ケロイド	0.0%
その他	1.9%

*ここ3か月間におけるまつ毛エクステンションによる眼障害受診経験者を母数とする。複数回答可。

図1 まつ毛エクステンションによる眼障害受診者の年齢の経験率



*ここ3か月間におけるまつ毛エクステンションによる眼障害受診経験を母数とする。複数回答可。

表24 美容認知している要因

	Exp(B)	95% 信頼区間		有意確率
		下限	上限	
診療科				p<0.001
眼科	1.81	1.34	2.44	
皮膚科	1.00			
医療機関				0.004
病院	0.58	0.42	0.82	
診療所	1.00			
その他医療機関	2.37	0.51	10.93	
性別				p<0.001
女性	4.60	3.13	6.76	
男性	1.00			
年齢階級				p<0.001
20-39	1.53	0.78	2.99	
40-49	1.00			
50-59	0.71	0.46	1.10	
60-69	0.34	0.22	0.53	
70-	0.13	0.08	0.20	
地域区分				0.035
北海道東北	1.00			
関東	1.68	1.05	2.68	
中部	1.21	0.73	2.03	
近畿	1.86	1.11	3.11	
中国	0.95	0.52	1.76	
四国	0.81	0.40	1.62	
九州沖縄	1.37	0.80	2.35	

*不明と回答したものは除外して解析を行った。

表25 被害認知する要因

	EXP(B) の 95% 信頼区間			有意確率
	Exp(B)	下限	上限	
診療科				p<0.001
眼科	3.15	2.52	3.95	
皮膚科	1.00			
医療機関				p<0.001
病院	0.40	0.31	0.52	
診療所	1.00			
その他医療機関	2.55	0.72	9.09	
性別				p<0.001
女性	1.98	1.58	2.47	
男性	1.00			
年齢階級				p<0.001
20-39	1.42	0.96	2.10	
40-49	1.00			
50-59	0.87	0.65	1.17	
60-69	0.50	0.36	0.68	
70-	0.28	0.20	0.40	
地域区分				0.005
北海道東北	1.00			
関東	1.79	1.25	2.54	
中部	1.40	0.94	2.08	
近畿	1.29	0.89	1.88	
中国	0.93	0.58	1.49	
四国	1.11	0.63	1.93	
九州沖縄	1.09	0.73	1.62	

*不明と回答したものは除外して解析を行った。

表26 医師および患者様の健康被害詳細調査の対象者
各項目ごとの割合(%)

性別	
男性	0.0
女性	100.0
年齢層	
20-29	43.8
30-39	25.0
40-49	18.8
50-59	12.5
地域	
東京都	43.8
大阪府	50.0
不詳	6.3
医療機関	
診療所	93.3
病院	6.7
その他	0.0

表27 健康被害についての説明の有無

	割合(%)
あった	62.5
なかった	18.8
覚えていない	18.8

表28 健康被害のリスクについて受けた説明の内容

	割合(%)
まぶたがかぶれたり腫れたりすることがある	60.0
目が充血したり、痛くなったりすることがある	70.0
まつ毛が抜けることがある	40.0
眼球や角膜に傷がついたりすることがある	20.0
症状について詳しい説明なし	10.0
説明があることは覚えているが、内容は覚えていない	20.0
その他	0.0

* 健康被害のリスク説明を受けた者を母数とする。

表29 施術後目に異常があった時についての説明の有無

	割合(%)
あった	25.0
なかった	56.3
覚えてない	18.8

表30 施術後目に異常があった時の対応について受けた説明の内容

	割合(%)
目に異常があった時の対応について受けた説明内容	
医師に受診	50.0
お店へ連絡	25.0
説明はあったが、内容は覚えていない	0.0
その他	25.0

*目に異常があった時について説明を受けた者を母数とした。

表31 まつ毛エクステンションによる健康被害を受けた受診者の傷病名

	割合(%)
まつ毛脱落	0.0
眼瞼皮膚炎	46.7
眼瞼縁炎	13.3
急性結膜炎	40.0
点状表層角膜症	26.7
角膜びらん	13.3
角膜潰瘍	0.0
接触性皮膚炎	0.0
異物肉芽腫	0.0
細菌感染症	0.0
真菌感染症	0.0
既往のアレルギーの悪化	6.7
ケロイド	0.0
その他	6.7

*複数回答可。マッチング出来た受診者を母数とした。

表32 健康被害を受けた原因

	割合(%)
人工まつ毛	13.3
接着剤	66.7
衛生不良	6.7
患者自身の体調不良	0.0
アレルギー	26.7
施術者の技術不足	6.7
その他	6.7
不明	20.0

*複数回答可

表33 転帰(見込み含む)の割合

	割合(%)
治癒	73.3
軽快	26.7
不変	0.0
悪化	0.0
後遺症あり	0.0
不明	0.0

表34 治癒期間(見込み含む)の割合

	割合(%)
7日以内	81.8
14日以内	18.2
1か月以内	0.0
1か月以上	0.0
その他	0.0

II. 資料

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

「まつげエクステンションの眼障害に関する実態把握調査」

2003-2004年頃にわが国に導入された美容法、まつ毛エクステンションによる危害相談が国民生活センターに多数寄せられています。また、まつ毛エクステンションによる目のトラブルの症例の報告が増えてまいりました。まつ毛エクステンションによる事故実態を把握し、国民に、衛生的かつ安全なまつ毛エクステンションの啓蒙することを目的として、日本眼科医会・日本臨床皮膚科医会の先生方にご協力頂き、「まつ毛エクステンションの眼障害に関する実態把握調査」を行うことになりました。

調査票を受け取られた先生におかれましては調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。お答え頂いた内容につきましては、個人及び所属される医療機関のプライバシーを守り、結果の公表は集計の形で行います。なお、本調査は、日本眼科医会・日本臨床皮膚科医会の全会員の中から無作為に抽出させて頂きました。

◆記入の手引き・調査法について：

1. 調査票を受け取られた先生、ご自身のことをお答えください。
 2. 調査票は記入後、無記名の小封筒に入れて密封し、さらにそれを返信用中封筒に入れて投函して下さい。
 3. 責任をもって開封し、調査票入り小封筒と返信用中封筒を別々にして保管し、匿名化して集計致します。
- *このような方法によりますと調査票を提出した方の氏名は確認できますが、それぞれの調査票につきまして誰が書いたか不明のままでも解析できるものです。

ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、以上よろしくお願い致します。

●日本眼科医会

〒105-0014

東京都港区芝 2-2-14

会長 高野 繁

●日本臨床皮膚科医会

〒102-0071

東京都千代田区富士見 2-3-2

会長 若林 正治

本調査につきまして質問のある方は

下記までお願いします。

日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野

池田真紀 03-3972-8111(内線 2272)

1. 勤務先の地域を教えてください _____ 都・道・府・県
勤務先の地域規模を教えてください 1. 大都市部 2. 中小都市部 3. 町村部
2. 所属する機関はどれですか 1. 病院 2. 診療所 3. その他 ()
3. 診療科を教えてください 1. 眼科 2. 皮膚科 3. その他 ()
4. 性別を教えてください 1. 男性 2. 女性
5. 年齢を教えてください _____ 才
6. まつげエクステンションというまつげ美容法をご存知ですか 1. はい 2. いいえ
7. まつげエクステンションによる眼障害をご存知ですか。 1. はい 2. いいえ
8. 医師としてまつ毛エクステンションについてどのように考えますか
1. 日常的な使用を推奨する 2. 日常的な使用を許容できる
3. 特別な時の使用であれば許容できる 4. 使用を推奨することはできない

9. あなたご自身はまつげに関する装飾を行っていますか。(複数回答可)

1. 何もしていない 2. まつげエクステンション 3. まつ毛パーマ
4. つけまつげ 5. マスカラ

10. あなたはここ3か月で、まつ毛エクステンションが原因と思われる眼障害受診者を経験しましたか。

1. はい 2. いいえ

11. まつ毛エクステンションが原因と思われる受診者の眼障害の傷病名に○をし、わかる範囲でその人数を記入して下さい。

- | | | | | |
|---------------------------------|-----|----|----|----|
| a. 睫毛脱落 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| b. 眼瞼皮膚炎 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| c. 眼瞼縁炎 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| d. 急性結膜炎 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| e. 点状表層角膜症 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| f. 角膜びらん | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| g. 角膜潰瘍 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| h. 接触性皮膚炎 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| i. 異物肉芽腫 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| j. 細菌感染症 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| k. 真菌症 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| l. 既往のアレルギー疾患の悪化 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| m. ケロイド | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| n. その他 () | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |

12. まつ毛エクステンションが原因と思われる受診者の年齢層に○をし、わかる範囲でその人数を記入して下さい。

- | | | | | |
|-----------|-----|----|----|----|
| a. 10歳未満 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| b. 10～19歳 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| c. 20～29歳 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| d. 30～39歳 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| e. 40～49歳 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| f. 50～59歳 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |
| g. 60歳以上 | (男性 | 人・ | 女性 | 人) |

*これで終了です。ご協力ありがとうございました。記入もれがないかご確認下さい。

まつ毛エクステンションの健康被害実態把握調査（医師用）

まつ毛エクステンションによる眼障害を主訴として来院された患者様に調査にご協力頂きたく思っております。

本調査は2枚1組となっております。

本ページについては医師がご記入下さい。小封筒とともに、2ページ目のみ、患者様へお渡してください。

1. 患者様の性別と年齢を教えてください。 男・女 () 歳

2. 傷病名を教えてください。(複数回答可)
 - a. まつ毛脱落
 - b. 眼瞼皮膚炎
 - c. 眼瞼縁炎
 - d. 急性結膜炎
 - e. 点状表層角膜症
 - f. 角膜びらん
 - g. 角膜潰瘍
 - h. 接触性皮膚炎
 - i. 異物肉芽腫
 - j. 細菌感染症
 - k. 真菌感染症
 - l. 既往のアレルギー疾患の悪化
 - m. ケロイド
 - n. その他 ()

3. 原因を教えてください。(複数回答可)
 - a. 人工まつ毛
 - b. 接着剤
 - c. 衛生不良
 - d. 患者自身の体調不良
 - e. アレルギー
 - f. 施術者の技術不足
 - g. その他 ()
 - h. 不明

- 4-1. 転帰（見込みを含む）について教えてください。
 - a. 治癒
 - b. 軽快
 - c. 不変
 - d. 悪化
 - e. 後遺症あり
 - f. 不明
- 4-2. 治癒と回答された先生にお伺いします。症状の治癒期間（見込みを含む）について教えてください。
 - a. 7日以内
 - b. 14日以内
 - c. 1か月以内
 - d. 1か月以上
 - e. その他 ()

5. 先生の所属する機関はどれですか？
 - a. 診療所
 - b. 病院
 - c. その他 ()

6. 先生の勤務先の地域を教えてください。

_____ 都・道・府・県

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

まつ毛エクステンションの健康被害実態把握調査（患者様用）

まつ毛エクステンションによる眼障害のために、受診された患者様へ

まつ毛エクステンションによる眼障害に関する健康被害の実態について厚生労働科学研究費補助金を受けて、研究の一環として調査をしております。回答頂いた内容はまつ毛エクステンションの安全性についての対策を立てるために使われます。まつ毛エクステンション施術時のことを教えて下さい。

回答された後、用紙を封筒に入れ、封をして受付へご提出ください。個人情報保護は保護されます、ご協力お願い致します。

厚生労働省『まつ毛エクステンションの眼障害に関する実態把握調査』研究班
日本眼科医会 福下公子 日本大学医学部 池田真紀

アンケートに協力して頂けますか。 a. はい b. いいえ

1-1. 施術前に、施術による健康被害のリスクがあることについて説明はありましたか。

- a. あった b. なかった c. 覚えていない

1-2. 説明があつた人にお聞きします。健康被害のリスクの内容についてどんな説明を受けましたか。あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

- a. まぶたがかぶれたり腫れたりすることがあるという説明を受けた
b. 目が充血したり、痛くなったりすることがあるという説明を受けた
c. まつ毛が抜けることがあるという説明を受けた
d. 眼球や角膜に傷がついたりすることがあるという説明を受けた
e. 健康被害のリスクがあることは説明があつたが、その症状について詳しい説明がなかった
f. 説明があつたことは覚えているが、内容は覚えていない
g. その他（ ）

2-1. 施術後に目に異常があつた時にどうすればよいかという説明はありましたか。

- a. あつた b. なかった c. 覚えていない

2-2. 説明があつた人にお聞きします。どんな説明を受けましたか。あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

- a. 医師に受診するよう説明を受けた
b. お店へ連絡するよう説明を受けた
c. 説明があつたことは覚えているが、内容は覚えていない
d. その他（ ）

3. あなたの性別と年齢を教えてください。

男・女 （ ）歳

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

III. 參考資料

表35 7地域における診療科別、まつ毛エクステ美容認知の割合

地域区分7				美容認知			合計
				知っている	知らない	不明	
北海道東北	診療科2分け	眼科	度数 診療科2分けの%	115 90.6	12 9.4		127 100.00
		皮膚科	度数 診療科2分けの%	111 82.8	23 17.2		134 100.00
	合計	度数 診療科2分けの%	226 86.6	35 .1		261 100.00	
関東	診療科2分け	眼科	度数 診療科2分けの%	312 95.1	14 4.3	2 .6	328 100.00
		皮膚科	度数 診療科2分けの%	340 86.1	55 13.9	0 .0	395 100.00
	合計	度数 診療科2分けの%	652 90.2	69 9.5	2 .3	723 100.00	
中部	診療科2分け	眼科	度数 診療科2分けの%	138 88.5	18 11.5		156 100.00
		皮膚科	度数 診療科2分けの%	159 85.5	27 14.5		186 100.00
	合計	度数 診療科2分けの%	297 86.8	45 13.2		342 100.00	
近畿	診療科2分け	眼科	度数 診療科2分けの%	190 94.5	10 5.0	1 .5	201 100.00
		皮膚科	度数 診療科2分けの%	209 86.0	34 14.0	0 .0	243 100.00
	合計	度数 診療科2分けの%	399 89.9	44 9.9	1 .2	444 100.00	
中国	診療科2分け	眼科	度数 診療科2分けの%	68 90.7	7 9.3		75 100.00
		皮膚科	度数 診療科2分けの%	69 81.2	16 18.8		85 100.00
	合計	度数 診療科2分けの%	137 85.6	23 14.4		160 100.00	
四国	診療科2分け	眼科	度数 診療科2分けの%	38 84.4	7 15.6		45 100.00
		皮膚科	度数 診療科2分けの%	43 82.7	9 17.3		52 100.00
	合計	度数 診療科2分けの%	80 83.3	16 16.7		96 100.00	
九州沖縄	診療科2分け	眼科	度数 診療科2分けの%	146 93.0	11 7.0		157 100.00
		皮膚科	度数 診療科2分けの%	148 86.5	23 13.5		171 100.00
	合計	度数 診療科2分けの%	294 89.6	34 .1		328 100.00	

表36 7地域における診療科別、まつ毛エクステによる被害認知の割合

地域区分7			被害認知			合計	
			はい	いいえ	不明		
北海道東北	診療科2分け	眼科	度数	105	21	1	127
			診療科2分けの%	82.7	16.5	.8	100.0
	皮膚科	度数	84	50	0	134	
		診療科2分けの%	62.7	37.3	.0	100.0	
	合計	度数	189	71	1	261	
		診療科2分けの%	72.4	27.2	.4	100.0	
関東	診療科2分け	眼科	度数	304	22	2	328
			診療科2分けの%	92.7	6.7	.6	100.0
	皮膚科	度数	277	117	1	395	
		診療科2分けの%	70.1	29.6	.3	100.0	
	合計	度数	581	139	3	723	
		診療科2分けの%	80.4	19.2	.4	100.0	
中部	診療科2分け	眼科	度数	127	27	2	156
			診療科2分けの%	81.4	17.3	1.3	100.0
	皮膚科	度数	132	54	0	186	
		診療科2分けの%	71.0	29.0	.0	100.0	
	合計	度数	259	81	2	342	
		診療科2分けの%	75.7	23.7	.6	100.0	
近畿	診療科2分け	眼科	度数	174	25	2	201
			診療科2分けの%	86.6	12.4	1.0	100.0
	皮膚科	度数	158	84	1	243	
		診療科2分けの%	65.0	34.6	.4	100.0	
	合計	度数	332	109	3	444	
		診療科2分けの%	74.8	24.5	.7	100.0	
中国	診療科2分け	眼科	度数	61	14		75
			診療科2分けの%	81.3	18.7		100.0
	皮膚科	度数	52	33		85	
		診療科2分けの%	61.2	38.8		100.0	
	合計	度数	113	47		160	
		診療科2分けの%	70.6	29.4		100.0	
四国	診療科2分け	眼科	度数	35	10		45
			診療科2分けの%	77.8	22.2		100.0
	皮膚科	度数	35	17		52	
		診療科2分けの%	67.3	32.7		100.0	
	合計	度数	70	26		96	
		診療科2分けの%	72.9	27.1		100.0	
九州沖縄	診療科2分け	眼科	度数	132	25		157
			診療科2分けの%	84.1	15.9		100.0
	皮膚科	度数	113	58		171	
		診療科2分けの%	66.1	33.9		100.0	
	合計	度数	245	83		328	
		診療科2分けの%	74.7	25.3		100.0	

表37 7地域における診療科別、この3か月にまつ毛エクステが原因と思われる受診者の経験

地域区分7				受診者の経験			合計
				はい	いいえ	不明	
北海道東北	診療科2分け	眼科	度数	19	107	1	127
			診療科2分けの%	15.0	84.3	.8	100.0
		皮膚科	度数	15	119	0	134
			診療科2分けの%	11.2	88.8	.0	100.0
	合計		度数	34	226	1	261
			診療科2分けの%	13.0	86.6	.4	100.0
関東	診療科2分け	眼科	度数	117	207	4	328
			診療科2分けの%	35.7	63.1	1.2	100.0
		皮膚科	度数	55	337	3	395
			診療科2分けの%	13.9	85.3	.8	100.0
	合計		度数	172	544	7	723
			診療科2分けの%	23.8	75.2	96.8	100.0
中部	診療科2分け	眼科	度数	31	123	2	156
			診療科2分けの%	19.9	78.8	1.3	100.0
		皮膚科	度数	27	158	1	186
			診療科2分けの%	14.5	84.9	.5	100.0
	合計		度数	58	281	3	342
			診療科2分けの%	17.0	82.2	.9	100.0
近畿	診療科2分け	眼科	度数	64	134	3	201
			診療科2分けの%	31.8	66.7	1.5	100.0
		皮膚科	度数	38	203	2	243
			診療科2分けの%	15.6	83.5	.8	100.0
	合計		度数	102	337	5	444
			診療科2分けの%	23.0	75.9	1.1	100.0
中国	診療科2分け	眼科	度数	17	58	0	75
			診療科2分けの%	22.7	77.3	.0	100.0
		皮膚科	度数	6	78	1	85
			診療科2分けの%	7.1	91.8	1.2	100.0
	合計		度数	23	136	1	160
			診療科2分けの%	14.4	85.0	.6	100.0
四国	診療科2分け	眼科	度数	6	39	0	45
			診療科2分けの%	13.3	86.7	.0	100.0
		皮膚科	度数	6	45	1	52
			診療科2分けの%	11.5	86.5	1.9	100.0
	合計		度数	12	83	1	96
			診療科2分けの%	12.5	86.5	1.0	100.0
九州沖縄	診療科2分け	眼科	度数	39	118	0	157
			診療科2分けの%	24.8	75.2	.0	100.0
		皮膚科	度数	27	143	1	171
			診療科2分けの%	15.8	83.6	.6	100.0
	合計		度数	66	261	1	328
			診療科2分けの%	20.1	79.6	.3	100.0